

第1回 東京都通称道路名検討委員会

議事概要

日時：平成25年4月19日（金） 10時～12時

場所：都庁第一本庁舎42階特別会議室A

委員出席者：11名（代理出席2名含む）

委員からの主な意見

- 名称設定に当たっては、地元自治体をはじめとした地域の声を尊重してほしい。
- 商店街では今、商店街観光、町なか観光ということに力を入れている。そこで、町を楽しむという観点からの配慮もお願いしたい。
- 事件や事故の通報、震災時の交通対策などでも通称道路名が用いられている。通称道路名から地域や地区が連想できるとよい。長過ぎず、わかりやすい名称を付けてほしい。
- 道路の名称は観光の面からも大変重要である。通称名を前面に出したPRは観光振興の一つの手法となり得る。前回設定の時から外国人観光客は4倍に増えていることもあり、名称をブランドとして打ち出していくことも重要になってくる。
- 道路に名称が付くのはいいことである。名称設定に当たっては、ある程度のロングトリップが対象となることは、合意を得やすいという点で有効であり、また、やむを得ない部分もあるのではないか。
- 何も無いところに道路を作らなければならない地方と、道路があるのが当然である都会とでは、道路に対する熱意が違う。道路への愛着や評価といったものを改めなければならないのではないか。
- 通称道路名が付いている道路でバスやタクシーが走っていないものはないだろう。最近ではコミュニティバスも重要視されている。タクシーの場合、乗客も通称道路名で行先を告げるし、経路は距離に関係することもあり、通称道路名を知らないでは済まないのが実情である。そのような状況を踏まえ、通称道路名がない所にはぜひ付けてほしい。名称のPRも重要だと思う。

以上